

## 1月20日(水)「千葉大学帰国留学生シンポジウム」開催 ～世界で活躍する元留学生が、千葉大学へ里帰り～

国立大学法人千葉大学は、1月20日に「千葉大学帰国留学生に学ぶ世界の研究と教育」をテーマにシンポジウムを開催します。今年度で第5回目を迎える今回は、**ネパール、フィリピン、インドネシア、ドイツ、カンボジアの5カ国**から元留学生が里帰りします。千葉大学で学び、研究した経験が、世界各地でどのように活かされているのかを紹介します。

### ■シンポジウムの概要について

【テーマ】千葉大学帰国留学生に学ぶ世界の研究と教育

【日時】1月20日(水) 14:00~16:00

【場所】千葉大学アカデミックリンクセンターI棟1Fひかり(西千葉キャンパス)

### ■プログラム

開会挨拶 千葉大学学長 徳久 剛史

#### 帰国留学生5名による事例紹介

##### 「ヒマラヤの環境研究をめぐる」

ディネッシュ・ラジュ・ブジュ(ネパール)  
王立ネパール科学技術アカデミー アカデミシャン

##### 「フィリピンにおける教育の課題と展望」

デリア・フファナ・パタルド(フィリピン)  
フィリピン教育省パンガシナン州第二学区教育長

##### 「デザインと文化によるイノベーション」

ドゥディ・ウィヤンチョコ(インドネシア)  
バンドン工科大学准教授 工学デザイン学科長

##### 「ドイツにおける日本学の重要性」

ドロテア・ムラノデヴァ(ドイツ)  
ライプツヒ大学東アジア学日本学科講師

##### 「育種の研究-カンボジアの農業発展のために」

コン・キネット(カンボジア)  
農林水産省カンボジア農業研究開発研究所  
植物育種部上級研究員



アカデミックリンクセンター案内図  
\* 弥生通りからお入りください。

### ■千葉大学校友会海外支部について

千葉大学校友会海外支部は、**世界24カ国**に在住する、あるいは勤務する千葉大学の帰国留学生や日本人卒業生を中心に構成され、母校の発展のため会員相互の親睦に加え、**世界から千葉大学の研究・教育活動を支える母体**として活動しています。

今回のシンポジウムに招いた5名も各国の支部員として、海外から千葉大学をサポートしています。

URL : <http://cire-chiba-u.jp/alumni/>



全世界に展開する千葉大学校友会海外支部

本件に関するお問い合わせ  
千葉大学学務部留学生課 TEL : 043-290-2197

取材に関するお問い合わせ  
千葉大学広報室 TEL : 043-290-2018, 2019

世界で活躍する

# 千葉大学帰国留学生に学ぶ 世界の研究と教育



千葉大学では、世界各国に在住する帰国留学生と連携し、千葉大学の知的、人的ネットワークを構築しています。本シンポジウムでは、千葉大学での学業を成就し、現在それぞれの分野で活躍している帰国留学生を迎え、母国の研究・教育環境の多様性、日本とのつながり、これからの協力関係のありかたなどについてお話を伺います。帰国留学生との情報交換や連携協力を通して、国際社会を生きる私たちの役割と今後の方向性を考えていく機会でもあります。

## 講師情報



### ヒマラヤの環境研究をめぐって



ディネッシュ・ラジュ・ブジュ氏  
Dr. Dinesh Raj Bhuju  
(ネパール)

現職：王立ネパール科学技術アカデミー (NAST) アカデミシャン

✦ ネパール政府最大の研究機関であるNAST所属の研究者。植物生態学を専門とする。ネパールの環境研究の第一人者として、大学をはじめ様々な機関において教育指導もを行っている。

→ 1993-1998年 理学研究科在籍 (国費研究留学生)



### フィリピンにおける教育の課題と展望



デリア・フファナ・パタルド氏  
Dr. Delia Hufana Patalud  
(フィリピン)

現職：フィリピン教育省 パンガシナン州第二学区 教育長

✦ 教育長としてパンガシナン州マンガルダン学区の公立学校を統括する教育行政にたずさわり、地方の学校教育の指導にあたっている。

→ 1999-2000年 教育学部在籍 (国費教員研修留学生)



### デザインと文化によるイノベーション



ドウディ・ウィヤンチョコ氏  
Dr. Dudy Wiyancoko  
(インドネシア)

現職：バンドン工科大学 准教授  
工学デザイン学科長

✦ インドネシアデザイン教育界のキーパーソン。デザインを社会的・文化的側面から捉える研究者。日本企業とのコラボレーションも多く手がけている。

→ 1996-2000年 工学研究科在籍 (国費研究留学生)



### ドイツにおける日本学の重要性



ドロテア・ムラデノヴァ氏  
Ms. Dorothea Mladenova  
(ドイツ)

現職：ライプツヒ大学 東アジア学  
日本学科 講師

✦ ライプツヒ大学で教鞭をとる傍ら、社会学の観点から日本人、日本社会の意識について研究している。ドイツ日本学の若き研究者。

→ 2007-2008年 人文社会科学研究科在籍 (交換留学生：JPAC)



### 育種の研究-カンボジアの農業発展のために



コン・キネット氏  
Dr. Kynet Kong  
(カンボジア)

現職：農林水産省 カンボジア農業研究開発研究所 植物育種部 上級研究員

✦ イネを対象として、非生物的ストレス耐性および高品質な品種の育成および改良に取り組んでいる。カンボジアの将来を担う若き研究者。

→ 2009-2014年 園芸学研究科在籍 (国費研究留学生)

日時： 2016年1月20日(水): 14:00-16:00

場所： 千葉大学アカデミック・リンク・センター1棟1階「ひかり」

主催： 千葉大学

問い合わせ先  
千葉大学学務部留学生課  
TEL: 043-290-2197  
E-mail: dge2195@office.chiba-u.jp

※このシンポジウムは、「千葉大学SEEDS基金」より助成を受けている事業です。